

肺がんを知る

肺がん患者の統計

[TOP](#) > [肺がんを知る](#) > 肺がん患者の統計

公開日：2020年10月30日 更新日：2020年10月30日

肺がんの罹患数は約12万6000人、60歳を過ぎると急激に増加

死亡率も年々上昇し、肺がんががんにおける死亡率第1位に

男性肺がん患者さんの2人に1人は喫煙者

肺がんの5年生存率は30%以上にまで向上

肺がんの病期が早いほど生存率も高い

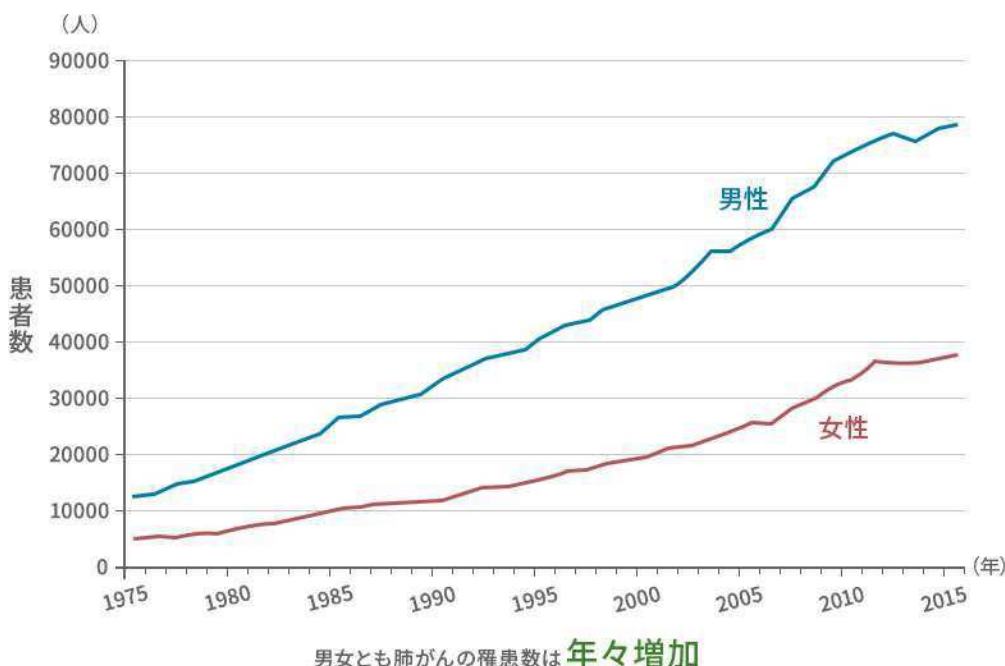
監修 東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科 教授 岸 一馬 先生

肺がんの罹患数は約12万6000人、60歳を過ぎると急激に増加

肺がんの罹患数（新たに診断された人数）は年々増加しており、2019年には約12万6000人（男性 約8万4000人、女性 約4万2000人）が肺がんとして診断されています¹⁾。男性の方が女性の約2倍多く、年齢があがるほど罹患率も高くなり、60歳以降になると急激に増加します。

1) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html#anchor1 （閲覧日：2025年8月12日）

図：肺がん罹患数の年次推移（1975年～2015年）



肺がんを知る

▶ 肺がんの特徴

▶ 肺がんの

▶ 肺がんの

▶ 小細胞

▶ 非小細胞肺がんとは

▶ 肺がんの原因

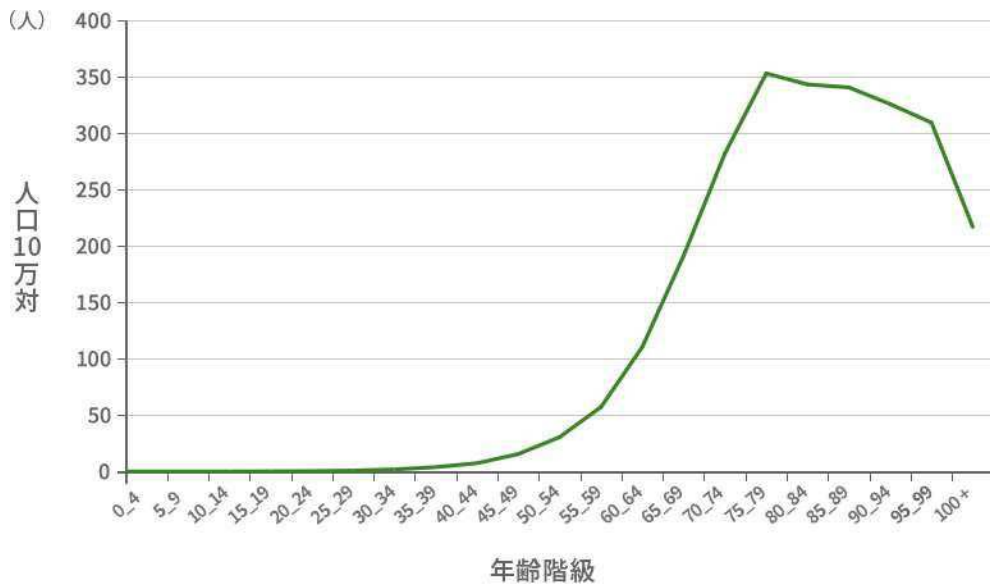
▶ 肺がん患者の統計

肺がんの検査

肺がんの治療

おしえて先生！肺がんのコト

図：年齢別の肺がん罹患率（2020年）



60歳以降 は急激に **罹患率が上昇**

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）より作図

https://ganjocho.jp/reg_stat/statistics/stat/cancer/12_lung.html#anchor2 （閲覧日：2025年8月12日）

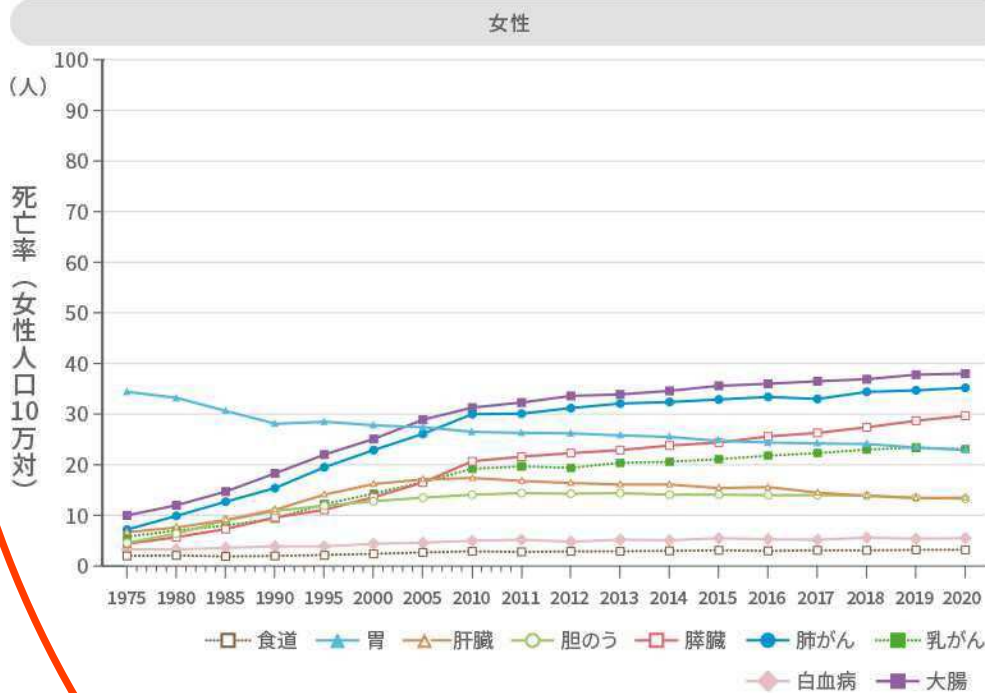
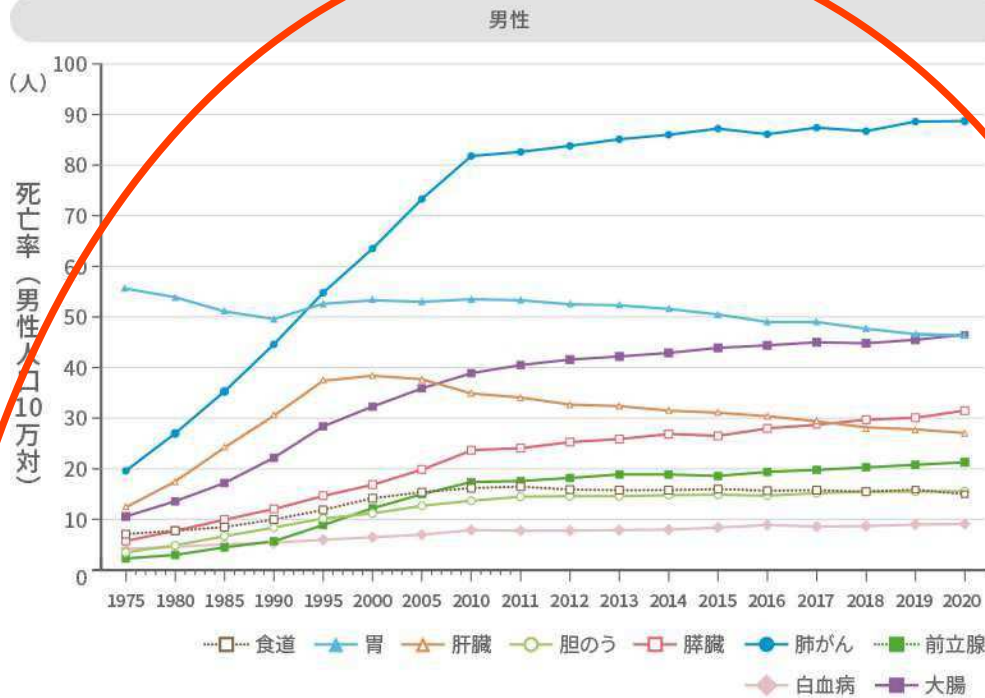
死亡率も年々上昇し、肺がんががんにおける死亡率第1位に

肺がんは、罹患数の増加とともに、死亡率も年々、上昇しています。1998年には胃がんを抜いて肺がんが死亡率の第1位となりました。その後も死亡率は高まり、2020年には約7万6100人が肺がん で亡くなっています。男女別の死亡者数は、男性で約5万3200人（死亡率第1位）、女性で約2万2900人（死亡率第2位）となっています²⁾。

2) がん研究振興財団：がんの統計2023,p15

図：主要ながん死亡率の年次推移

掲載してほしい情報



男女ともに年々、肺がんの死亡率は上昇

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)より作成
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html#anchor1 (閲覧日: 2025年8月12日)

▲ このページのTOPへ

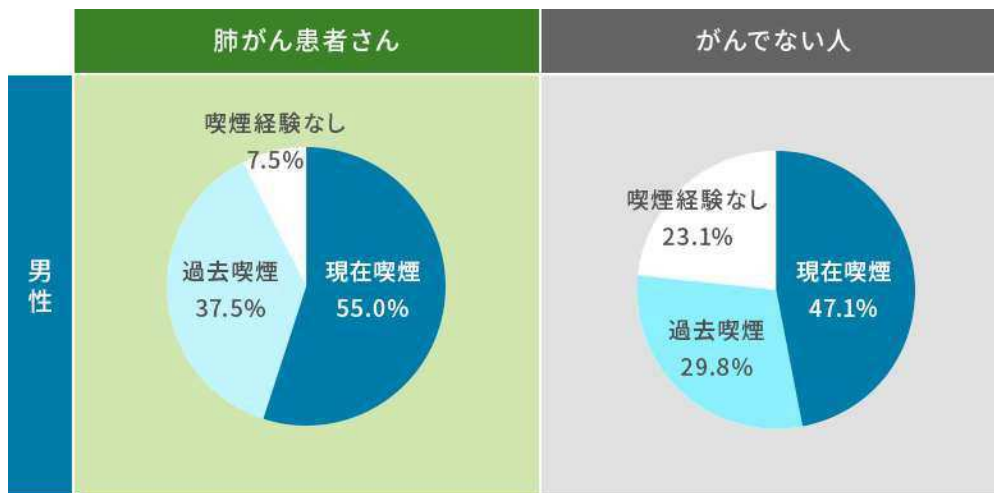
男性肺がん患者さんの2人に1人は喫煙者

肺がん患者さんの喫煙率は、ある調査によると肺がんの男性患者さんで55.0%、女性患者さんで16.1%と、男女ともにかんでない人に比べて高い傾向が見られます。過去の喫煙経験も含めた喫煙率は男性患者さんの方

が女性患者さんよりも3倍以上高いです。

禁煙すると肺がんリスクの低下、治療効果の向上が見られるため、まずは禁煙を心がけてください。

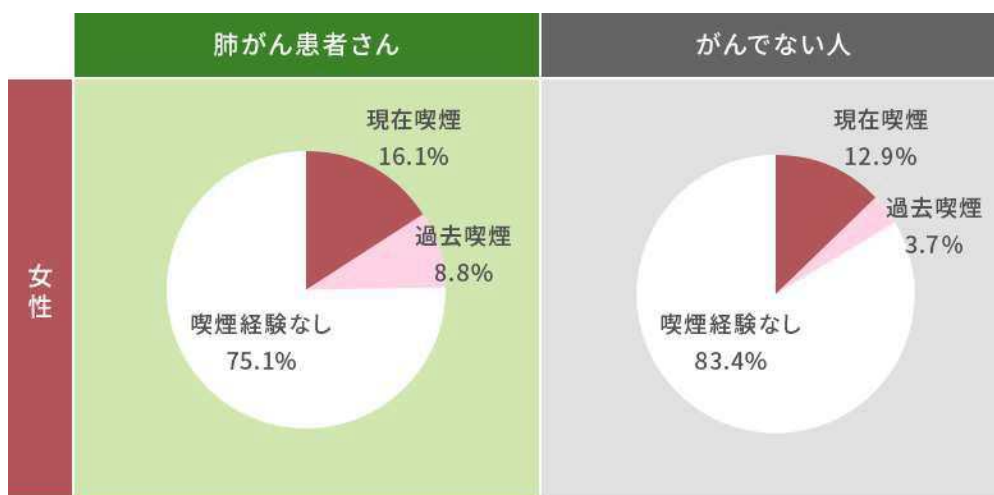
図：肺がん患者さんの喫煙率（男性）



男性肺がん患者さんの**55%が喫煙**、過去の喫煙経験も含めると**90%以上**が喫煙歴あり

Seki T. et al.,Cancer Sci. 2013 ; 104(11) : 1515-1522より作図

図：肺がん患者さんの喫煙率（女性）



Seki T. et al.,Cancer Sci. 2013 ; 104(11) : 1515-1522より作図

もっと
知りたい!

喫煙率と肺癌患者数・死亡率の関係

もっと
知りたい!

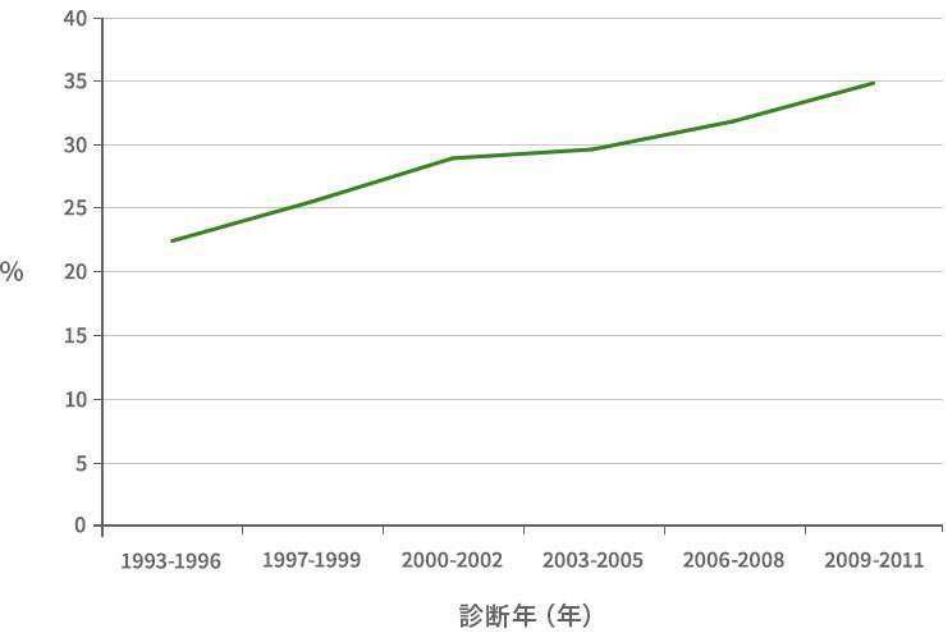
喫煙率のピークと肺癌死亡率のピークにはタイムラグが生じる

肺がんの5年生存率は30%以上にまで向上

肺がんの5年生存率は、1993～1996年に診断された患者さんでは22.5%であったのに対し、2009～2011年に診断された患者さんは34.9%にまで上昇しており、肺がん患者さんの生存率の向上が見られています。

5年生存率：がんと診断されてから5年後に生存している患者さんの割合を示したもの。

図：肺がん患者さんの5年生存率の推移



2009～2011年診断患者さんの5年生存率は34.9%に

全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告
(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2020)
独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/data/dl/index.html#a30 (閲覧日：2025年8月12日)

肺がんの病期が早いほど生存率も高い

掲載してほしい情報

生存率は肺がんの病期（ステージ）や種類によって異なります。小細胞肺がん、非小細胞肺がんともに病期が進むと生存率も低くなる傾向が見られ、より早期に診断され、治療を開始した方が生存率も高いことがわかります。

表：2013～2014年診断患者さんにおける病期別の5年生存率

病期（ステージ）	5年生存率	
	小細胞肺がん	非小細胞肺がん
I 期（ステージ1）	44.7%	84.1%
II 期（ステージ2）	31.2%	54.4%
III期（ステージ3）	17.9%	29.9%
IV期（ステージ4）	1.9%	8.1%

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2013～2014年5年生存率集計 報告書より作成
https://ganjoho.jp/public/ga_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/pdf/hosp_c_reg_surv_2013-2014.pdf
(閲覧日：2025年8月12日)

もっと
知りたい!!

治療の進歩と生存率の向上

参考文献

国立がん研究センターがん対策情報センター：がん登録・統計

https://ganjoho.jp/reg_stat/index.html （閲覧日：2025年8月12日）

厚生労働省「人口動態調査」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html> （閲覧日：2025年8月12日）

Seki T. et al., Cancer Sci. 2013；104(11)：1515-1522

厚生労働省 健康ネット「最新たばこ情報」

<http://www.health-net.or.jp/tobacco/front.html> （閲覧日：2025年8月12日）

国立がん研究センターがん情報サービス「部位別がん年齢調整死亡率 年次推移がん登録・統計」（人口動態統計）

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/annual.html （閲覧日：2025年8月12日）

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2013～2014年5年生存率集計 報告書

https://ganjoho.jp/public/ga_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/pdf/hosp_c_reg_surv_2013-2014.pdf （閲覧日：2025年8月12日）

がん研究振興財団：がんの統計2022, 2022年3月

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

▲ このページのTOPへ

肺がんの原因

肺がんの検査

▶ 肺がんを知る

- ▶ 肺がんの特徴
- ▶ 肺がんの症状
- ▶ 肺がんの種類
 - ▶ 小細胞肺がんとは
 - ▶ 非小細胞肺がんとは
- ▶ 肺がんの原因
- ▶ 肺がん患者の統計

▶ 肺がんの検査

- ▶ 肺がんの検査方法
 - ▶ 肺がんの疑いを調べる検査（スクリーニング検査）
 - ▶ 確定診断のために行われる検査
 - ▶ 病期診断のための検査
 - ▶ 腫瘍マーカーとは？
 - ▶ がん確定診断後に行われる検査

▶ 肺がんの治療

- ▶ 肺がんの病期（ステージ）分類
- ▶ 肺がんの治療法
 - ▶ 治療方針を決める因子
 - ▶ 外科治療
 - ▶ 放射線療法
 - ▶ 薬物療法
 - ▶ 周術期治療（手術に追加して行う治療）
 - ▶ 抗がん剤（細胞傷害性抗がん剤）
 - ▶ 分子標的治療薬とは
 - ▶ 免疫チェックポイント阻害剤とは
 - ▶ 妊よう性温存について
- ▶ 再発・転移

▶ おしえて先生！肺がんのコト

- ▶ 本庄 統 先生
- ▶ 豊澤 亮 先生
- ▶ 坂本 博昭 先生



関連リンク

▶ [がんwith](#)
(別ウィンドウで開きます)



「働くこと」「お金のこと」「暮らしのこと」をテーマに、がん患者さんの体験談、医師や専門家による解説、レシピなどを掲載するサイトです。

▶ [AYA Life-あやライフ-](#)
(別ウィンドウで開きます)



AYA世代でがんになった方の体験談や、用語集、そして患者さんと一緒にがんを闘う医師からのアドバイスを掲載しています。

▶ [おしえて がんゲノム医療](#)
(別ウィンドウで開きます)



がんの原因である遺伝子の変化を調べるがん遺伝子パネル検査、がんゲノム医療についてご紹介しています。